

文化通信

速報

発行所・株式会社文化通信社 / 編集・発行人・渡邊裕二

令和2年4月25日(土) 第17285号

購読者様へのお知らせ

購読者さま、日頃大変お世話になっております。
このたび、各社様のテレワークに対応するため、日刊紙のPDF版を期間限定でサイト上(文化通信.com)のトップ記事に掲載いたします。
ご利用頂ければ幸いです。期間は4月8日付から4月末まで(予定)。

☆きよりのニュース

スポーツテッドプロ企画・運営のオンライン映画館

29日から5月1日の3日間プレオープンで3作品

新型コロナ影響、ステイホームミニシアター発表

○齊藤工プロデュース・監督でテレワーク題材映画

○仮設の映画館、配信作品、賛同劇場が続々決まる

▽Tシャツなどオリジナルグッズを作成して販売

有志が開設し利益を劇場に寄付する取り組みも
休館中の映画館がオンラインショップ続々開設

▽学生部門「NARRA wave」で締切延長

なら国際映画祭2020、9月開催向け準備

▽フランス映画祭横浜、6月の開催を見合わせる

▽au 5G×ネットフリ「攻殻」拡張体験開始

▽ゲームのKLabとアニメのぴえろが資本業務提携

▽ギャガ「ランボー」前売券にタオルなど豪華特典

▽松竹「弱虫ペダル」、坂東龍汰ら追加キャスト

▽日映「静岡東宝会館」、5月7日まで臨時休館

▽ブロードメディア、「風の電話」特別先行配信

▽松竹、1株当たりの配当金を30円に決定

▽東映「セーラーMoon」声優に松岡禎丞が出演

▽東映、特撮とティコウペンギンがYouTubeで

▽WOWOWプラス「ファウスト」ブルーレイ発売

大高宏雄の映画業界最前線V.O.I. 524

映画界からの強烈なアピール、行動今こそ

浜松シネマイーラのクラウドFに「映画の力」

訃報 植村徹氏(東北新社前社長)



(株)文化通信社 URL:<http://www.bunkatsushin.com/>

■住所: 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル10階 ■電話: 03-3214-6041 ■ファックス: 03-3214-5466

■メール: info@bunkatsushin.com ■ツイッター: <https://twitter.com/bunkatsushin> ■フェイスブック: <http://www.facebook.com/bunkatsushin>

文化通信（速報） 2年4月25日（17285号） 第三種郵便物認可

☆きょうのニュース

◎スポットッドプロ企画・運営のオンライン映画館

29日から5月1日の3日間プレオープンで3作品

新型コロナ影響、ステイホームミニシアター発表

映画界が新型コロナウイルスにまつわる打撃を受けるなか、スポットッドプロダクションズが企画・運営するオンライン映画館「STAY HOME MINI-THEATER powered by mu-mo Live Theater」（以下…ステイホームミニシアター）が、29日（水・祝）から5月1日（金）の3日間プレオープンする。ステイホームミニシアターでは、キュレーター（企画者）と劇場をつなぐオンライン興行を目指し、現時点で上映がストップしている映画や今後の上映展開が危ぶまれている作品を中心に、不定期で上映イベントを継続的に開催していく（提供協力…ミニシアターエイド基金、Save The Cinema）。

プレオープンでは、2月末に公開されるも4月頭に上映中止、全国上映も延期となった齊藤工監督『COMPLY+ANCE コンプライアンス』、齊藤工監督の新映画企画『TOKYO TELEWORK FILM』（後項参照）のプレミア上映、10日に全国公開予定だった『眉村ちあきのすべて（仮）』の特別先行上映をそれぞれ用意している。各作品の上映後トークや、29日（水・祝）には『COMPLY+ANCE』組によるプレオープン記念特別トークを、YouTubeで生配信する。

3日間にわたり、リアルタイム上映を全6回ずつ1500円で行い、興収から必要経費を差し引いた額を、対象劇場と配給・製作サイドで5…5で分配する。『COMPLY+ANCE』『TOKYO』の劇場収入分は日本赤十字社、ミニシアターエイド基金に寄付。『眉村ちあき』では上映を予定していた全国の映画館9館（ホワイトシネクイント、シネマスコーレ、アップリンク京都、第七藝術劇場、元町映画館、シネシテイザート、横川シネマ、シネマロブレ、横浜シネマ・ジャック&ベティ）に分配。

なお、mu-mo Live Theater は、エイベックス・エンタテインメントの協力を得てこの企画のためにmu-mo Liveという無観客ライブマネタイズプラ

つづく①

文化通信（速報） 2年4月25日（17285号） 第三種郵便物認可

ットフォームをカスタマイズしたもの。
いずれも24日15時現在。

○齊藤工プロデュース・監督でテレワーク題材映画

映画監督・齊藤工は、「STAY at HOME」をテーマに、日常化するテレワークを舞台にした映画企画『TOKYO TELEWORK FILM』を始動、リモート撮影でクランクインした。

自宅環境での「娯楽の選択肢」として特別WEBサイト「A TAKUMI SAITOH FILM」を立ち上げ、監督作品や出演関連作、レコメンド作品や映画を随時更新中の齊藤。自身の出演作品も撮影延期となり、在宅自粛の最中に今回の企画を立ち上げた。

『TOKYO TELEWORK FILM』は、鬱屈に屈さず、ウイルスショックによって生まれ行く「テレワークカルチャー」を記録し続け、連作を時系列に並べるオムニバス映画。俳優、芸人、ミュージシャン、一般ユーザーまでも次々巻き込み、フェーズ1「テレワークセッション」フェーズ2「テレワーク会話劇」を経て、フェーズ3「短編・長編を想定した製作」へと発展させる3段階で製作を展開予定、2020年中の長編公開を目指す。コメディやシリアス、ビターなものまで、オムニバス映画ならではのうねりを持ったトーンに仕上げ、長編映画へと更新する間に、WEBで随時公開を予定。

出演は、伊藤沙莉、大水洋介（ラバーガール）、酒井健太（アルコ&ピース）、斎藤工他。制作はイースト・ファクトリー。

○仮設の映画館、配信作品、賛同劇場が随々決まる

映画館を支援するオンライン映画館が随々登場している。すでに発表している映画配給会社の東風と映画監督の想田和弘が立ち上げた「仮設の映画館」もそのひとつで、25日（土）にスタートする。はじめての上映作品は、3月21日よりユーロスペースを皮切りに劇場公開されていた東風配給『春を告げる町』に決まった。

停滞している映画の経済を全国の劇場、配給会社、製作者、映画ファンとともに回復させるため、通常の劇場公開と並行して新作映画のデジタル配信を行う試み。観客はインターネット上でどの映画館で映画を鑑賞するかを選択。鑑賞料金は選ばれた映画館に分配される。

「仮設の映画館」に賛同・参加する劇場、配給会社が増え、当初発表し

つづく②

文化通信（速報） 2年4月25日（17285号） 第三種郵便物認可

ていた東風配給、想田監督『精神0』に加えて、複数の作品の配信が決まった。以下、それらのリスト。

〈配信作品／配信開始時期〉

▼『春を告げる町』配信日：25日（土）（監督：島田隆一、配給：東風）
▼『精神0』5月2日（土）（想田和弘、東風）▼『巡礼の約束』5月2日（土）（ソントルジャ、ムヴィオラ）▼『タレントタイム』優しい歌』5月2日（土）（ヤスミン・アフマド、ムヴィオラ）▼『グリーン・ライ』エコの嘘』5月2日（土）（ヴェルナー・ブーテ、ユナイテッドピープル）▼『どこへ出しても恥かしい人』5月2日（土）（佐々木育野、シマフィルム）▼『島にて』5月8日（金）（大宮浩一、田中圭、東風）▼『タゴール・ソングス』5月上旬（佐々木美佳、ノンデライコ）▼『プリズン・サークル』5月中旬（坂上香、東風）▼『タッチ・ミー・ノット』ローラと秘密のカウンセリング』6月6日（土）（アディナ・ピンティリエ、ニコニコフィルム）。

〈賛同・参加劇場〉

【関東】▼東京シアター・イメージフォーラム、ユーロス・ペース、ポレポレ東中野、岩波ホール、新宿K's cinema、ユジク阿佐ヶ谷▼神奈川横浜シネマ・ジャック&ベティ、横浜シネマリン、あつぎのえいがかんkiki▼埼玉川越スカラ座▼群馬シネマテークたかさき【北海道・東北】▼北海道シアターキノ▼青森フォーラム八戸▼岩手フォーラム盛岡▼山形フォーラム山形▼宮城フォーラム仙台▼福島フォーラム福島、まちポレいわき【中部】▼新潟シネ・ウインド、高田世界館▼石川シネモンド▼富山ほとり座▼静岡シネマイーラ▼長野長野ロキシー、松本CINEMAセレクト、上田映劇▼愛知名古屋シネマテーク、名演小劇場【近畿】▼大阪第七藝術劇場、シネ・ヌーヴォ▼京都京都シネマ、出町座▼兵庫元町映画館、豊岡劇場【中国・四国】▼岡山シネマ・クレール▼広島横川シネマ、シネマ尾道、福山駅前シネマモード▼愛媛シネマルナティック【九州・沖縄】▼福岡KBKシネマ▼佐賀シアター・シエマ▼大分シネマ5▼熊本Denkikan▼宮崎宮崎キネマ館▼鹿児島鹿児島ガーデンズシネマ▼沖縄桜坂劇場、シアタードーナツ。

いずれも今後増えていく予定。また、オリジナルマナーCMが完成。観客が少しでも映画館の暗闇を想像できるように制作した。ナレーション（場内アナウンス）は渋谷のミニシアター、ユーロス・ペースの岡崎真紀子さんが担当。打合せから撮影、編集まで全て「テレワークによる協働作業」で制作した。

了

◎Tシャツなどオリジナルグッズを作成して販売

有志が開設し利益を劇場に寄付する取り組みも

休館中の映画館がオンラインショップ続々開設

新型コロナウイルスの影響により全国の映画館の多くが休館する中で、独自にオンラインショップを立ち上げ、オリジナルのグッズを販売する劇場が増えている。

フォーラムやアップリンク、シネマスコール、横浜シネマ・ジャック&ベティ、ユジク阿佐ヶ谷、シネモンド、川越スカラ座、豊岡劇場、上田映劇などが、Tシャツなどのグッズをオンライン店で販売し、SNSなどで発信した際には話題になっている。手軽にオンラインショップを開設できる「BASE」や「STORES」などのシステムを利用し、この短期間にスタートさせた劇場が多いようだ。また、劇場サイドは館名などのロゴ画像を用意するだけで、在庫なしでTシャツなどを作成でき、配送や決済なども担ってもらえる「SUZURI」というサービスを利用する劇場も目立つ。

10日にオンラインショップを立ち上げたポレポレ東中野は、勤務する映画スタッフの協力により、座席の配置図と劇場ロゴをデザインしたTシャツを販売。大槻貴宏代表によると「非常に多くの注文を頂いており、現時点（24日）で320枚以上売れています」という。

また、横浜シネマリンの八幡温子代表は「常連のお客様から『支援したくてもする方法がない』というお声を頂戴し、遅くなりましたがオンラインショップを立ち上げました」とし、現在は同劇場の猫のキャラクター「クリコ」のTシャツを販売中。「ヨコハマ経済新聞で取り上げられた際は、爆発的な注文を頂きました。GW前に250枚が納品される予定ですが、足りなくなりそうです」と驚きを隠さない。どの劇場も個性豊かなデザイン

のTシャツを販売しており、コレクション性も高そうだ。劇場を支援するべく、有志がオンラインショップを立ち上げるケースも増えてきた。Tシャツの売上を関西の劇場13館で分配する「Save our local cinemas」の取り組みが大きな話題となったのは記憶に新しいところ。そのほかにも、自主上映会の「東京サロンシネマ」が、女優辻凪子がデザインしたTシャツ売上の利益をシアターセブンに寄付、イラストレーターをつけるんたろうがデザインしたTシャツ売上の利益をシネマ尾道に寄付するなど、クリエイターと劇場を結び付ける形の支援ページを「SUZURI」上に開設。映画Webマガジン「OLIVE」も、同じく「SUZURI」上で自社の公式グッズを販売し、購入者が指定した劇場に利益を寄付する支援を行っている。

了

文化通信（速報） 2年4月25日（17285号） 第三種郵便物認可

◎学生部門「NARRA・wave」で締切延長
なら国際映画祭2020、9月開催向け準備

なら国際映画祭2020（運営・特定非営利活動法人なら国際映画祭）は、9月18〜22日に開催するべく、準備を進めている。また、同映画祭では新型コロナウイルス感染症拡大のいち早い収束を望むとともに、「芸術の力を信じ、映画祭の開催など、様々なプロジェクトの準備を進める」とした。場合により、延期開催も検討している。

さらに、次世代を担う子どもたち、ユースへのプログラムを充実させるためにも、今期もまた学生部門「NARRA・wave」で作品を募集中。当初の締め切りを延長し、5月15日まで受け付けている。

◎フランス映画祭横浜、6月の開催を見合わせる

フランス映画祭2020横浜は、6月25〜28日に開催を予定していたが、これを延期した。新たな開催時期は調整中。

主催するユニフランス会長のセルジュ・トウビアナ氏は、「フランス映画祭横浜は日本の観客の皆様方と最新のフランス映画が出会う、類い稀な映画祭であり、濃密な数日間。フランスのアーティストたちが日本の皆様から情熱的に歓迎され、彼らも横浜での出会いをとても楽しみにしている大事なイベント。ユニフランスは、常に誠実な日本のパートナーの皆様方と共に、この日仏文化の大交流イベントである本映画祭を2020年が終わる前に開催するべく、全力を尽くす事をお約束します」とした。

◎au 5G×ネットフリ「攻殻」拡張体験開始

KDDI、渋谷区観光協会、渋谷未来デザインは、渋谷区が推進する創造文化都市事業への貢献を目的とした「渋谷5Gエンターテイメントプロジェクト」を通じ、Netflixオリジナルアニメシリーズ「攻殻機動隊 SAC|2045」の世界が現実合成される拡張体験「UNLIMTED REALITY」の4つのオンラインコンテンツを23日から提供開始した。主要キャラクターの素子やバトーが犯人と戦う360度VRオリジナルストーリーや、人気キャラクター「タチコマ」のARコンテンツなどがスマートフォンで楽しめる。

これらのコンテンツは、23日の「攻殻機動隊 SAC|2045」配信にあわせて提供開始された、au 5Gと同作が生み出す拡張体験。当初は、渋谷の街を舞台にした体験型イベントの実施を予定していた。しかし新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う社会情勢を鑑み、自宅から安心してコンテンツを楽しめるようイベント内容を全てオンラインコンテンツ化。渋谷での体験型イベントは時期を改めて実施予定。

了

文化通信（速報） 2年4月25日（17285号） 第三種郵便物認可

◎ゲームのKLabとアニメのぴえろが資本業務提携

モバイルオンラインゲームの企画・開発・運用を手掛けるKLab株式会社（本社・東京都港区／代表取締役社長・森田英克）は24日、アニメーション制作会社のぴえろと資本業務提携を結んだと発表した。

KLabがぴえろに出資する。出資比率は非公表。KLabはこれまでもぴえろが手掛けたアニメ「BLEACH」や「幽遊白書」などを共同事業としてモバイルゲーム化しており、今回の提携を機に、より連携を進め、ぴえろが持つ映像コンテンツのモバイルゲーム化や、ゲームを含めたグッズ・イベント展開に力を入れていく。

また、KLabは、今後もエンタメ領域における協業や出資を含めた提携を積極的に推進していくとしている。

◎ギャガ『ランボー』前売券にタオルなど豪華特典

ギャガ配給『ランボーラスト・ブラッド』（提供…ギャガ、ポニーキャニオン）は、前売券の豪華特典が次の通り決定した。劇場窓口は近日、ネットは24日から販売開始。

■ムビチケカード（劇場窓口） 〓「RAMBO」の文字入りオリジナルマフラータオル付き（1500円）。

■ムビチケカード（セブンネットショッピング） 〓①海外デザイン版特大ポスター付き（8千円）。②海外デザイン版特大ポスター&海外デザイン版B2ポスター付き（9299円）。

■ムビチケオンライン券 〓抽選で5名に特製Tシャツ、3名にオリジナルトートバッグをプレゼント（1500円）。

同作は、シルベスター・スタローン演じるジョン・ランボーが最後の決戦に挑むアクション大作。6月26日（金）公開。

▽訃報 〓植村徹東北新社前社長は、21日に死去、享年58。死因は公表していない。葬儀は家族で執り行う。遺族の強い意向により、新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、弔問、弔電、香典、供花、供物等は辞退する。

植村氏は1988年11月に東北新社入社。2006年6月専務取締役、08年6月取締役副社長、09年6月代表取締役副社長、10年6月代表取締役社長、19年6月Executive Principal 就任。問い合わせは東北新社総務部（03-5414-0212）まで。

了

文化通信（速報） 2年4月25日（17285号） 第三種郵便物認可

◎松竹『弱虫ペダル』 坂東龍汰ら追加キャスト

松竹配給『弱虫ペダル』の追加キャストが発表された。主人公・小野田坂道役の永瀬廉（King & Prince）のほか、伊藤健太郎、橋本環奈が発表されていたが、新たに坂東龍汰、竜星涼、柳俊太郎、菅原健、井上瑞稀（Hiji Jets）、皆川猿時の出演が明らかになった。

坂東、竜星、柳、菅原、井上は、永瀬や伊藤と同じ総北高校自転車競技部のメンバー。撮影前の自転車練習や長いロケを行い、一緒に食事にも行くなど、本物の部活のように絆を深めた。また猿時は、橋本扮するマネージャーの父親役を演じる。

監督は三木康一郎。制作プロダクションはデジタル・フロンティア。2月克蘭クイン、7月上旬完成予定。8月14日公開。

◎日映「静岡東宝会館」、5月7日まで臨時休館

日映は、緊急事態宣言の対象地域拡大による政府・自治体からの要請を受けて、静岡東宝会館（静岡市）を24日から臨時休館にした。期間は5月7日まで。

同社の経営する藤枝シネ・プレーゴ（静岡県藤枝市）も同期間、休館している。

◎ブロードメディア、『風の電話』特別先行配信

ブロードメディアは、『風の電話』の特別先行配信を克蘭クイン！ビデオ、Paraviの2つの動画配信サービスで24日から開始した。

1月24日の封切以来、現在も劇場公開中だが、「新型コロナウイルスの影響で全国の多くの映画館が一時休館中となっている状況のなか、全国の方々に向けて、本作品の『希望と再生』のメッセージをより早く、そして安全にお届けできるようにした」としている。視聴料金は800円（視聴期間72時間）。

また、克蘭クイン！ビデオでは、「お家で楽しもう 1000ポイントプレゼントキャンペーン」を5月15日まで実施している。新規会員登録に14日間の無料体験を実施しているが、通常の登録時に取得できる3000ポイントに加え、既存会員を含めた全員に1000ポイントを贈呈する（1ポイント＝1円相当）。

了

文化通信（速報） 2年4月25日（17285号） 第三種郵便物認可

◎松竹、1株当たりの配当金を30円に決定

松竹は、このほど2020年2月29日を基準日とする剰余金の配当額を決定した。

1株当たりの配当金は30円。配当金の総額は4億1400万円。効力発生日は2020年5月27日。

◎東映『セーラーMoon』声優に松岡禎丞が出演

東映配給の劇場版『美少女戦士セーラーMoon Eternal 前編』（9月11日公開）は、このほど特報映像とデザイナービジュアル、声優キャスト1人が解禁された。

今回解禁された声優は、「鬼滅の刃」「ソードアート・オンライン」等で声の出演を担当する松岡禎丞。松岡が演じるのは、物語の鍵を握るペガサス・エリオス役。

松岡は、「エリオスは触れたら壊れてしまいそうな怖いガラス細工のような印象ですが、信念はしっかりしたものがあがるキャラクター。無理なく一杯演じました」とコメントしている。

◎東映、特撮とテイコウペンギンがユーチューブで

東映が運営する「東映特撮ユーチューブオフィシャル」と人気ユーチューブアニメ「テイコウペンギン」（Pilot制作）がコラボ。18日から、テイコウペンギンの公式チャンネルで配信中。

動画のタイトルは「スーパー戦隊になるとどうなるのか?」。東映が制作するスーパー戦隊シリーズ第44作「魔進戦隊キラメイジャー」と、普段はブラック企業に勤め日々社会の理不尽さと格闘する「テイコウペンギン」とその仲間たちがコラボ。キラメイジャーにテイコウペンギンらが必要なり、世界の平和を守るために協力して戦う。スーパー戦隊シリーズではお馴染みの変身シーンや合体ロボも登場する。

◎WOWOWプラス『ファウスト』ブルーレイ発売

WOWOWプラスは、シネフィルレーベルよりチェコ出身のヤン・シュヴァンクマイエル監督『ファウスト』（1994年製作）を24日、日本で初めてブルーレイ発売した。販売元はKADOKAWA。

実在したとされる魔術師の伝説を監督が独自の解釈にもとづいて映像化したもの。価格は税別4800円。

了

◎映画界からの強烈なアピール、行動今こそ
浜松シネマイーラのクラウドFに「映画の力」

緊急事態宣言が出て以降、映画館の休業が全国的に相次ぐなか、ついに営業している映画館は本当に限られることになってしまった。とくにこれまで、何とか上映を続けてきたミニシアターなどは、今週の4月22日あたりから、休業に入るところが目立った。全国で営業を続ける映画館は、1桁台になっていると推測される。映画館が、限りなくゼロに近づく。まさに、映画界が停止状態になったと言って差し支えない。映画界だけの話ではないので、残念ながら停止状態に関して、今のところなすすべはない。

緊急事態宣言が長引けば、さらに休業の期間は延長される。映画館の全国的な休業は、配給会社にも大打撃となる。作品が供給できないのだから、当然のことだ。ミニシアター支援などの重要な動きがある一方で、映画館や配給会社を含めた現在の映画界全体のことを考えたい。考えたからといって、どうなるものでもないが、一つ提案がある。小池都知事が言った「ゴールデンではありません」 「ステイホーム週間です」といったキャッチフレーズ（この知事はフレーズ作りが巧妙だ）に合わせるなら、映画界もまた、このさきを見越して、絶妙なキャッチフレーズ作りとともに、具体的なアピール、行動をすべきと考える。そもそも、ゴールデンウィークは、映画界が作った言葉だ。このGWには間に合わないとしても、もし5月いっぱいまで映画館の全国的な休業が続くようであれば、「映画再発見マンスリー」のような企画を立てて、広く映画のアピールを行ってほしい。映画、全興連、外配協など各団体が音頭をとり、映画の魅力を改めて発信するのだ。中身には腹案があるが、ここでは述べない。とにかく、やれることは何でもやってみるべきだと考える。

もう一つ、付け加えておきたいことがある。前回、浜松のシネマイーラの「SOS」発信にからめて、同館が始めたクラウドファンディングについて書いた。驚いた。1日足らずで、目標額の500万円を超え、4月24日の午後3時時点では、1200万円を突破したのである。同館に直接寄付の形で現金を持参してくる方も何人かいたと聞いた。ありふれた言葉だが、私はやはりここに「映画の力」を感じるのだ。「映画の力」は、即ち「映画ファンの力」だ。そこへ向けた映画界からの強烈なアピールを期待したい。

（大高宏雄・特別編集委員）